

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス Noah
------	-----------------

公表日 2026年 2月 25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	限られたスペースと戸外遊びを組み合わせ「静」と「動」の動きの繰り返しを意識しながら日々活動に取り組んでおります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	配置基準に基づきスタッフを配置している。	急な職員の病欠や事欠の際は送迎順や活動内容の変更で対応させて頂いております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	バリアフリーではないが、注意喚起イラストの添付や自己防衛の取り組みに対して日頃から実例ををあげ危険認知への認識伝達に努めております。	出来る範囲で検討、改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	日々の清掃は行っている。また、定期的に活動の中でも子どもたちに清掃への意識を伝え実際に取り組んでおります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	安全面に配慮しながら活動状況に応じて備品を片づけたり移動させながらできるだけ広い空間の維持に努めております。	引き続き、安全面の配慮に関して職員周知していく。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	50.0%	33.3%	活動前のミーティング、振り返りノート、各種研修等を活用しながら全職員との情報共有に日々努めております。	全職員への伝達方法を模索していく。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	評価表結果に全職員で目を通したうえでそれぞれの意見を聞き改善できる対策を検討しております。	統一のある保護者様対応を目指していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	日頃から職員間のコミュニケーションを取り合い意見を述べやすい環境作りを心掛けております。	個々のスタッフの気付きや振り返り、疑問点を職員間で共有し活動に生かして行けるように心掛けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50.0%	33.3%	行っていない。	今後必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	研修案内や参加できなかった職員には後日回覧で内容と資料での周知に取り組んであります。	引き続き外部研修に参加していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	66.7%	16.7%	プログラムを作成して公表内容の実施に日々努めております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	本人、保護者、スタッフ、各連携機関からの情報を基に収集して検討しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	日々の支援記録や保護者様や本人との面談を参考に事業所内で支援会議を行い支援内容の検討に取り組んでおります。	引き続き情報交換、意見交換を日ごろから行っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	支援記録内で個別目標の視点を記載したシートの活用で支援内容の明確化に努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	様々な視点からみられるように家庭、学校、主治医や検査結果なども共有できるようにしている。	

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	子どもたちそれぞれの特性や支援内容を考慮しながら5領域で設定を行い、スモールステップでの取り組み計画案を作成しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	職員からの意見や視点を振り返りの中で話し合いながら日々のプログラムや担当で取り組んでおります。	非常勤スタッフも含めて意見を聞いていく。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	担当を固定せず色々なスタッフが子どもと関わりそれぞれの気付きや意見を発言できる場を設けております。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	月間スケジュールを基に活動前のミーティングでの情報共有を行い活動内容を作成しております。	非常勤スタッフも含めて意見を聞いていく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	66.7%	16.7%	行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	その日のうちに記録に残している。	関わったスタッフ全ての人で記録に取り組めるようにしていく。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	行っている。	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100.0%	0.0%	行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	おやつや療育内容の選択で自己決定を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	児発管や保育士が参加、対応している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	必要に応じて行っている。 支援級とは情報交換しやすいが、通常級とは難しい面もある。	学校との情報共有や連携の強化を図っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%	0.0%	必要があれば行うが、家族からの情報が中心となっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%	18歳での卒業生がまだいない。	移行段階であるため各事業所見学の案内等の発信を増やしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%	必要に応じて行っていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100.0%	0.0%	あまり機会がないか、里山やイベントなどで他の団体の児童と交流することがある。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%	毎月参加しております。	管理者や児発管に限らず他職員の参加も促していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	定期的な面談や送迎時のコミュニケーションにて情報交換に努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%	イベント案内や参加協力をお願いしたり、研修情報は保護者に流している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	面談、電話、LINE などで行っている。	引き続き行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100.0%	0.0%	親、兄弟、参加のイベントは年に数回行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	できるだけ、迅速に誠意を持って対応を行っている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	HP、通信、インスタグラムなどで活動の発信に努めております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	絵カードやサインを活用しながら意思の疎通に取り組んでおります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100.0%	0.0%	地域のイベントには参加している。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	マニュアルの作成は行っています。避難訓練も定期的実施しております。	通信での発信を増やし保護者様に分かりやすく伝えていく。
非常時等の対応	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	避難訓練業務継続計画は作成している。	幅広い訓練の設定に努めていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	医師の指示所がある子がいないが必要なならば適宜対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	他事業所のニュースを職員に共有している。振り返りの中で都度気付いた際議題として取り上げ話し合っている。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	軽傷発生の際は保護者様へ状況説明を行った上の対応を送迎時かLINEで確実な伝達を行っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	書面での記録後日々のミーティングで職員間で対応を検討したのち全職員周知に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	事業所内での研修や外部研修案内などへの声掛けを行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	身体拘束の3要件はスタッフに周知徹底している。	